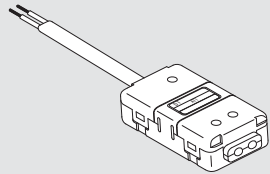


UNI-WIRE[®] System Product Guide（製品説明書）

UNI-WIRE HXシリーズターミネータ

AT2

ケーブル接続




UNI-WIREは株式会社TAIYOの登録商標です。


このUNI-WIRE System Product Guideは個別製品について記載しています。内容をお読みの上ご理解ください。
UNI-WIRE HXシリーズ全体の取扱いについてはUNI-WIRE HXシリーズテクニカルマニュアルをご参照ください。

【安全上のご注意】


安全にお使いいただくため、次のような記号と表示で注意事項を示していますので必ず守ってください。

**警告**

この表示は、取り扱いを誤った場合、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。


**注意**

この表示は、取り扱いを誤った場合、傷害を負う可能性、および物的損害のみの発生が想定される内容です。

**警告**

○システム安全性の考慮
本システムは、一般産業用であり安全用機器や事故防止システムなど、より高い安全性が要求される用途に対して適切な機能を持つものではありません。

○設置や交換作業の前には必ずシステムの電源を切ってください。

**注意**

○システム電源
DC24V安定化電源を使ってください。安定電源でない電源を使用するとシステムの誤作動の原因となります。

○高圧線、動力線との分離
ユニワイヤシステムは高いノイズマージンを有していますが、伝送ラインや入出力ケーブルと、高圧線や動力線とは本機器の耐ノイズ仕様を満足するまで離してください。

○コネクタ接続、端子接続

- コネクタ、ケーブルに負荷が掛かったり外れたりしないよう、ケーブル長さ、ケーブル固定方法などに配慮してください。
- コネクタ内部、また端子台に金属くずなどが混入しないよう注意してください。
- 金属くずによる短絡、誤配線は機器に損傷を与えます。

○機器に外部からのストレスが加わる様な設置は避けてください。故障の原因となります。

○伝送ラインが動作している時に、伝送ラインと各機器間の接続を切断したり再接続したりしないで下さい。誤作動の原因となります。

○ユニワイヤシステムは下記事項に定められた仕様や条件の範囲内で使用してください。

【特 長】

- ・UNI-WIRE HXシリーズに対応しています。
- ・UNI-WIRE HX伝送波形を安定化させる専用合成素子です。

【型 式】

AT2	各伝送速度共用
-----	---------

【保証について】

- 本製品の保証は日本国内で使用する場合に限りです。
- 保証期間

納入品の保証期間は、ご注文主のご指定場所に納入後 1 箇年とします。
- 保証範囲

上記保証期間中に、本取扱説明書にしたがった製品仕様範囲内の正常な使用状態で故障が生じた場合は、その機器の故障部分の交換または修理を無償で行ないます。ただし、つぎに該当する場合は、この保証範囲から除外させていただきます。

(1) 需要者側の不適当な取り扱い、ならびに使用による場合。

(2) 故障の原因が納入品以外の事由による場合。

(3) 納入者以外の改造、または修理による場合。

(4) その他、天災、災害などで、納入者側の責にあらざる場合。

ここでいう保証は納入品単体の保証を意味するもので、納入品の故障により誘発される損害はご容赦いただきます。

■有償修理

保証期間後の調査、修理はすべて有償となります。また、保証期間中においても、上記保証範囲外の理由による故障修理、故障原因調査は有償にてお受けいたします。
- 【ターミネータの接続】
- 基本

マスターユニット

スレーブユニット

ターミネータ

必要

UNI-WIRE HX マスターユニット 1台にAT2...1個 を伝送ライン D-Gの最遠端に接続してください。

伝送距離：50m（総延長）
200m（ " ）
1km（ " ）
3km（ " ）
AT2は各伝送距離に対し共通です。

●伝送ラインの分岐について

【接続例】

マスターユニット

スレーブユニット

支線7.5m


幹線30m

スレーブユニット

支線7.5m

ターミネータ 固定の1個

スレーブユニット

総延長とは、使用する伝送ラインの合計長を指します。左図の場合、総延長45mとなります。
- **注意**

●伝送ライン敷設
ユニワイヤシステムは高い耐ノイズ性を有していますが、伝送ラインには高圧線や動力線を近付けないでください。

●接続個数
マスタユニット1台に対し、伝送ラインD-G最遠端へAT2...1個を接続してください。伝送クロック125kHzに設定時の配線につきましては、1mを超える分岐を行わない、もしくは、マスタから末端のターミネータまで、渡り配線することを推奨致します。1mを超える分岐を行う場合、幹線長(総延長が最も長くなる系統)に対し、1系統の支線長(分岐部分)が幹線長の1/4以下としてください。マスタから放射状に配線を分岐させることは避けてください。

●このターミネータはUNI-WIREシステム専用です。

●D-Gラインは極性がありますので逆接続にご注意ください。伝送障害の原因になります。
- 【外形寸法】
- 単位: mm

赤・黒 2線 (0.75mm²sq.)

黒：伝送ラインGに接続
赤：伝送ラインDに接続

専用アダプタ (添付)
ADP-A03

ADP-A03による取付図
- 【連絡先】
- 株式会社 T A I Y O

ホームページアドレス <http://www.taiyo-ltd.co.jp>

〒541-0051 大阪府大阪市中央区備後町2-6-8 サンライズビル12F

＜お問合せ＞営業時間 9：00～17：35

カスタマーエクスペリエンスチーム TEL 03-4574-6600 / FAX 03-4574-6604
- 製品改良のため、予告なく仕様変更を行なうことがあります。
©2022 TAITO, LTD.
- NO. 91M-U195-C
- AT2 1/2-
- AT2 2/2-